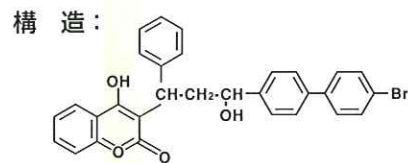


**名称と構造**

一般名：プロマジオロン

化学名：3-[3-(4-プロモ[1,1-ビフェニル]-4-イル)-3-ハイドロキシ-1フェニルプロピル]-4-ハイドロキシ-2H-1-ベンゾピラン-2-オン



分子式：C30H23BrO4

分子量：527.40

**ワルファリンとプロマジオロンの効果比較**

	薬 剤	喫食日数	死亡率 (%)
ドブネズミ	ワルファリン 0.025%	1	5.0
	プロマジオロン 0.005%	1	81.0
クマネズミ	ワルファリン 0.025%	5	70.0
	プロマジオロン 0.005%	5	95.0
ワルファリン 抵抗性	ワルファリン 0.025%	6	28.0
	プロマジオロン 0.005%	6	100.0

**喫食性試験**

供試動物	供試数	平均体重 (g)	餌	平均喫食量 (g)	摂取薬量 (mg / kg)	平均致死日数
ドブネズミ	♂5 ♀5	232	毒 餌	10.3	2.3	6.4
			無毒餌	0.3	-	-
クマネズミ	♂5 ♀5	185	毒 餌	8.4	2.3	6.1
			無毒餌	3.9	-	-
ハツカネズミ	♂5 ♀5	31	毒 餌	3.7	6.0	6.3
			無毒餌	6.0	-	-

プロマジオロンを含む毒餌と、含まない無毒餌を1~2日間併置し、野外から採取したドブネズミ、クマネズミ、及びddY系ハツカネズミにおけるラニラットの喫食性を調査しました。

その結果、ドブネズミ、クマネズミ及びハツカネズミにおいて、プロマジオロンを含んだ餌と含まない餌とは差がなく、喫食性に問題はありませんでした。(日本環境衛生センター)

**【有効成分及び分質】**

プロマジオロン…0.005%

**【効能又は効果】**

畜・鶏舎内及び周辺のネズミの駆除。

**【用法及び用量】**

畜・鶏舎内及びその周辺のネズミの出入りする物陰などに、トレイ等にのせ約10~30gを置いてください。喫食により無くなったら補給し、喫食しなくなるまで続けてください。

**【使用上の注意】**

- 定められた用法及び用量を厳守すること。
- アレルギー症状やかぶれなどを起こしやすい体質の人は、薬剤に触れないようにすること。
- 使用時には必ず手袋を着用し、使用後は石鹸で手を洗うこと。
- なるべく身体の露出部を少なくして、薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意すること。
- 皮膚に付いたときには、石鹸と水で良く洗うこと。万一、眼に入った場合はすぐに水又はぬるま湯で洗うこと。
- 家畜・家禽の飼料、飼料箱、飲水、飲水器等に薬剤を直接散布または混入しないようにすること。
- 家畜・家禽が直接または間接的に摂取出来る場所に使用しないこと。
- 飲食物、食器、糞賞魚・小鳥などのペット類、飼料などにかからないようにすること。
- 万一使用者が誤食した場合には、ただちに吐き出させ医師の診療を受けること。
- 万一畜舎又はペットが誤食した場合には、ただちに獣医師の診療を受けること。
- 万一、身体に異常が起きた場合は、ただちに本品がクマリン系殺鼠剤であることを医師に告げ診療を受けること。
- 本剤設置後は放置せず、数日経過後も喫食が認められない場合は別の場所に移動すること。
- 開封後はなるべく早く使いきること。

**【保管上の注意】**

- 食品、食器、飼料等と区別し、小児の手の届かないところに保管すること。
- 使用后、残った薬剤は必ず保管場所に戻し、容器は封をしておくこと。

**【廃棄上の注意】**

薬剤又は容器等を廃棄する場合は、焼却等適切に処分すること。

**【解毒剤】**

ビタミンK

被害のまえに、  
ラニラット・殺鼠剤。

0.025%	1	5.0
0.005%	1	81.0
0.025%	5	70.0
0.005%	5	95.0
0.025%	6	28.0
0.005%	6	100.0

動物用医薬部外品 殺鼠剤

ラニラット®

特約店

販売元：ノバルティス アニマルヘルス株式会社  
東京都港区浜松町2丁目4番1号  
世界貿易センタービル37階 〒105-6137  
電話番号03(3435)5245  
☎ 0120-418564



# 安全・確実にしかも少量でネズミを駆除して、より衛生的、より高品質な畜産経営を可能にする。

## 第二世代クマリン系殺鼠剤 **ラニラット**<sup>®</sup>

たとえば、鶏舎で、豚舎、牛舎で。より衛生的・より高品質な畜産経営を実現するためには、まず、ネズミの駆除が不可欠です。ラニラットは、安全、確実にしかも少量で殺鼠する新・クマリン系殺鼠剤。養鶏・養豚・養牛をはじめ各種食品の生産過程のなかで、衛生、品質管理を総合的に実践するHACCP(危害分析重要管理点)に基づいて、殺鼠はもちろん衛生的かつ高品質な飼育を可能にします。しかも、ネズミによるサルモネラ菌の不安も解消することができます。

### 特長

#### 新しい殺鼠剤

有効成分であるプロマジオロンは、今までにない第二世代のクマリン系殺鼠剤です。

#### 抵抗性ネズミにも効果

従来のワルファリン抵抗性ネズミにも優れた効果を発揮します。

#### 1~2回の喫食で有効

従来のクマリン系殺鼠剤のように蓄積毒ではないため、1~2回の喫食で有効です。

#### 優れた喫食性

ネズミの好むエサを配合していますので、優れた喫食性が得られます。

#### ネズミの警戒心なし

喫食後2~3日後から自然死のように死亡しはじめるため、ネズミに警戒心を与えることはありません。

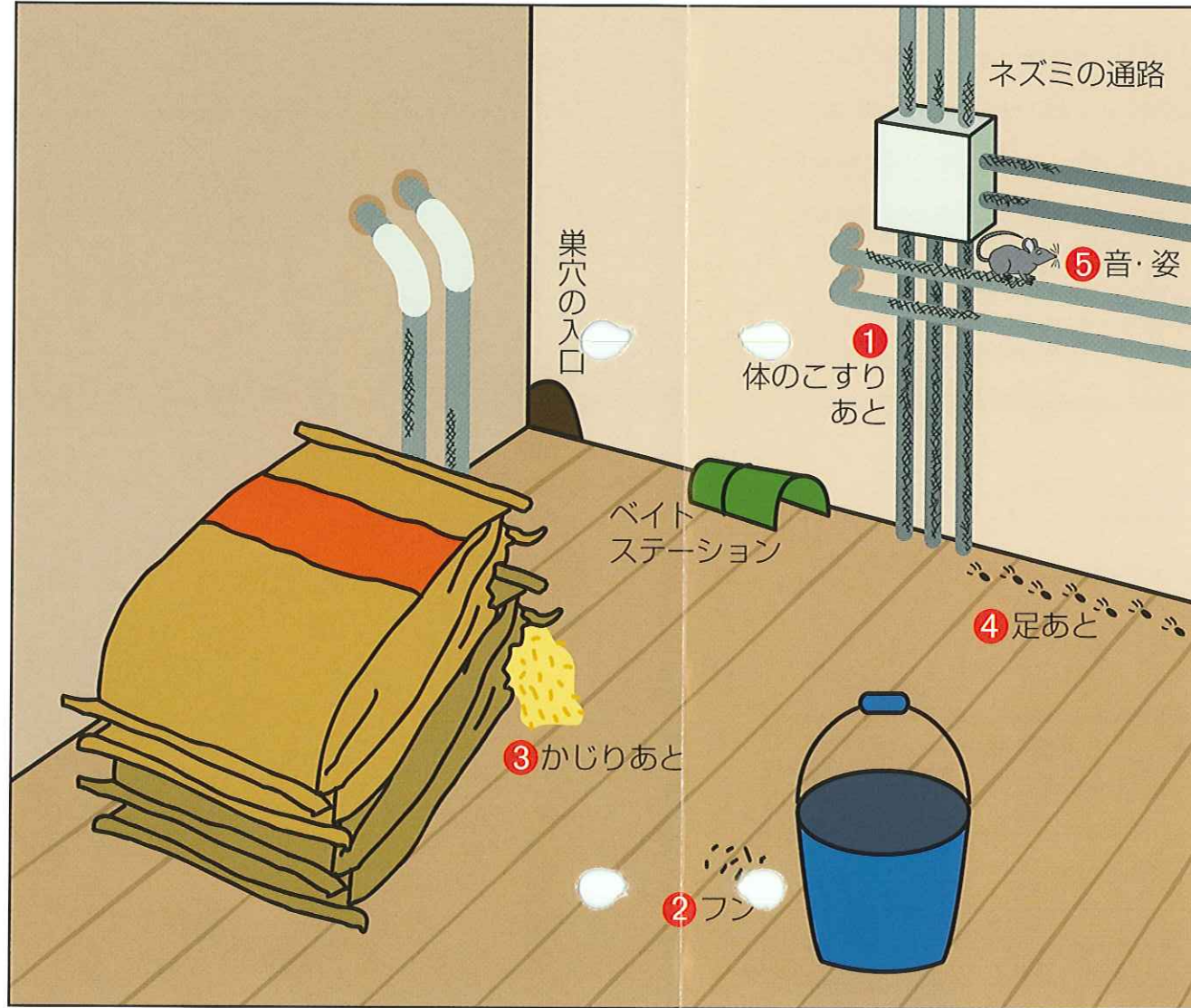
#### 誤食防止剤配合

誤って食べることをないように、赤色の着色およびトウガラシ粉を配合しています。

#### 有効な解毒剤

万が一、誤って飲み込んでも、ビタミンKで解毒できます。

### ラットサイン ①体のこすりあと、②フン、③かじりあと、④足あと、⑤音・姿のある場所



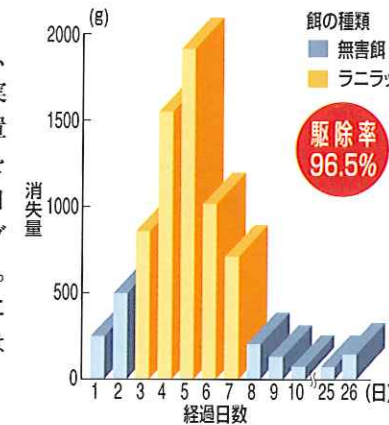
### ネズミの被害

- 飼料の損失
- 咬害による停電、漏電
- 飼料の汚染、散乱
- カーテン、ダクト、断熱材等の破損
- 卵、ヒナ、幼畜の損失
- 鶏卵のサルモネラ汚染
- 病原体の伝搬

(トキソプラズマ・大腸菌・サルモネラ・オーエスキー・ピロプラズマ・レプトスピラ等)

### 鶏舎 <ドブネズミ駆除>

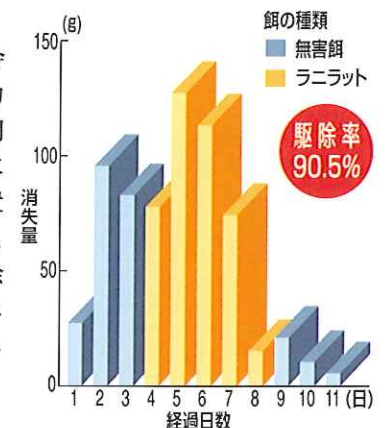
神奈川県下の養鶏場において、ラニラットの野外効力試験を実施しました。無毒餌を2日間設置して餌に慣らした後、ラニラットを5日間設置し、再び無毒餌を19日間設置して、餌の消失量からドブネズミの駆除率を算出しました。その結果、ラニラットの本鶏舎に生息するドブネズミ駆除率は96.5%でした。(日本環境衛生センター)



### 野外効力試験

### 豚舎 <クマネズミ駆除>

群馬県下の養豚場において、鶏舎における試験と同様の野外効力試験を実施しました。最初は3日間無毒餌を設置して餌に慣らした後、ラニラットを5日間設置し、再び3日間無毒餌を設置して、餌の消失量からクマネズミの駆除率を算出しました。その結果、ラニラットの本豚舎に生息するクマネズミ駆除率は90.5%でした。(株式会社AHC)



### ラニラットの効果的な使い方

- ネズミの駆除を行うにあたり被害を受けているネズミの種類を類推し、ラニラットの配置に工夫をこらすことが重要です。
- ラニラットの配置にはラットサイン\*を目安にしたり、ベイトステーションの利用や、できるだけ人目につかない物陰などが有効です。
- 必要に応じてよく食べる餌と混ぜると有効です。(ひまわりの種、カナリヤシード、飼料等)

	ドブネズミ	クマネズミ	ハツカネズミ
顔が丸い	顔が丸い	顔がとがっている	顔がとがっている
耳が小さい	耳が小さい	耳が大きい	耳が大きい
すんぐり	すんぐり	スマート	スマート
尾は太い(体長より短い)	尾は太い(体長より短い)	尾が細く長い(体長より長い)	尾が細く長い(体長より長い)
手足の甲、腹部は色がうすい(白っぽい)	手足・腹部とも暗色	手足・腹部とも暗色	手足・腹部とも暗色
体が全体に小さい	体が全体に小さい	体が全体に小さい	体が全体に小さい
こう丸や乳頭が発達している	こう丸や乳頭が発達している	こう丸や乳頭が発達している	こう丸や乳頭が発達している
体長	20~25cm	17~20cm	6~9cm
生息場所	土中等に穴を掘って生息する事が多い	屋根裏、梁、壁の隙間等に営巣、生息	荷物等に紛れ込み、生息
行動半径	100~300m	50~100m	
食性	雑食性	種実食性	種子食性
行動習性	泳ぎが得意	木登りが得意	お天気屋
警戒心	凶暴で大胆	非常に警戒心が強い	新しい物への警戒心が殆どない